

6 章 斜面对策工

6.1 集水井工

6.1.1 集水井工（ライナープレート土留工法）

6.1.2 集水井工（プレキャスト土留工法）

6.2 集排水ボーリング工

6.3 地すべり防止工（水路工）

6.4 かご工（斜面对策）

6章 斜面对策工

6.1 集水井工

6.1.1 集水井工(ライナープレート土留工法)

1. 適用

ライナープレート土留工法による集水井の施工に適用する。

2. 数量算出項目

集水井掘削、コンクリート、井戸蓋、昇降用設備等を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、土質、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

(1基当り)

項目 \ 区分	土質	規格	単位	数量	備考
集水井掘削	○	×	m		
コンクリート	×	○	m ³		
井戸蓋	×	○	枚(基)		
昇降用設備	×	○	m		

(2) 土質区分

土質による区分は、以下のとおりとする。

土質 ———— 砂・砂質土、粘性土、レキ質土
 └── 岩塊・玉石混じり土、軟岩、中硬岩

(3) 規格区分

集水井1基ごとに区分して算出する。

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

(1) 集水井掘削の土留材料の内訳は下記の項目で算出する。

(1基当り)

項目 \ 区分	土質	規格	単位	数量	備考
ライナープレート	×	○	m		
補強リング	×	○	個		
補強材	×	○	t		必要な場合算出

6.1.2 集水井工(プレキャスト土留工法)

1. 適用

プレキャスト土留工法による集水井の施工に適用する。

2. 数量算出項目

集水井掘削、コンクリート、井戸蓋、昇降用設備等を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、土質、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

(1基当たり)

項目 \ 区分	土質	規格	単位	数量	備考
集水井掘削	○	×	m		
コンクリート	×	○	m ³		
井戸蓋	×	○	枚(基)		
昇降用設備	×	○	m		

(2) 土質区分

土質による区分は、以下のとおりとする。

土質 ———— 粘性土、レキ質土
 └——— 軟岩

(3) 規格区分

集水井1基ごとに区分して算出する。

6.2 集排水ボーリング工

1. 適用

地表及び集水井内において、集排水ボーリング工を施工するものに適用する。

2. 数量算出項目

削孔、保孔管加工挿入、ボーリング仮設機材を区分ごとに算出する。

3. 区分

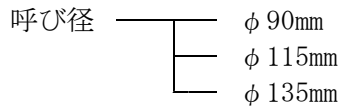
区分は、呼び径、土質、保孔管、施工場所、削孔長とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目 \ 区分	呼び径	土質	保孔管	施工場所	削孔長	単位	数量	備考
削孔	○	○	×	○	○	m		
保孔管加工挿入	×	×	○	○	×	m		
ボーリング仮設機材	×	×	×	×	×	式		

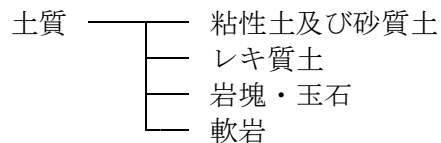
(2) 呼び径区分

呼び径（ドリルパイプ外径）による区分は、以下のとおりとする。



(3) 土質区分

土質による区分は、以下のとおりとする。



(4) 保孔管区分

保孔管による区分は、以下のとおりとする。

管種：VP, SGP

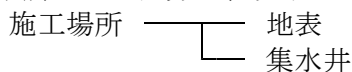
管径：(VP) 40, 50, 65, 75, その他

(SGP) 40A, 50A, 65A, 80A, 90A, その他

管加工：ストレーナ加工の有無

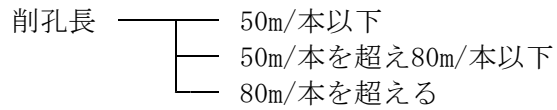
(5) 施工場所区分

施工場所による区分は、以下のとおりとする。



(6) 削孔長区分

削孔長による区分は、以下のとおりとする。



4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

(1) ホーリング仮設機材の内訳は下記の項目で算出する。

項目 \ 区分	施工	単位	数量	備考
機械据付	○	回		
足場（地表）	○	空m ³		

(2) 機械据付の施工区分は、地表と集水井に区分して算出する。

(3) 足場（地表）の作業面の幅は4.5mとして算出する。

(4) 足場（地表）の施工区分は、平地と傾斜地に区分して算出する。

6.3 地すべり防止工(山腹水路工)

1. 適用

地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設における山腹水路工に適用する。

2. 数量算出項目

施工数量を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、規格、掘削断面積、内空積、製品質量とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目 \ 区分	規格	掘削断面積	内空積	製品質量	単位	数量	備考
山腹U形側溝	○	○	—	—	m		
山腹コルゲートチューブ	○	○	—	—	m		
山腹U形側溝明暗渠	○	○	—	—	m		
山腹コルゲートチューブ明暗渠	○	○	—	—	m		
山腹暗渠	○	○	—	—	m		
集水樹	○	—	○	—	基		
プレキャスト集水樹	○	—	—	○	基		

(2) 掘削断面積、内空積、製品質量

掘削断面積、内空積、製品質量による区分は、以下によるものとする。

掘削断面積	—	0.5 m ² 以下
	—	0.5 m ² を超え1.0 m ² 以下
	—	1.0 m ² を超え2.0 m ² 以下
	—	2.0 m ² を超え3.0 m ² 以下
内空積	—	0.4 m ³ 以下
	—	0.4 m ³ を超え0.8 m ³ 以下
	—	0.8 m ³ を超え1.0 m ³ 以下
製品質量	—	150 kgを超え 500 kg以下
	—	500 kgを超え1,000 kg以下
	—	1,000 kgを超え1,500 kg以下
	—	1,500 kgを超え1,700 kg以下

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

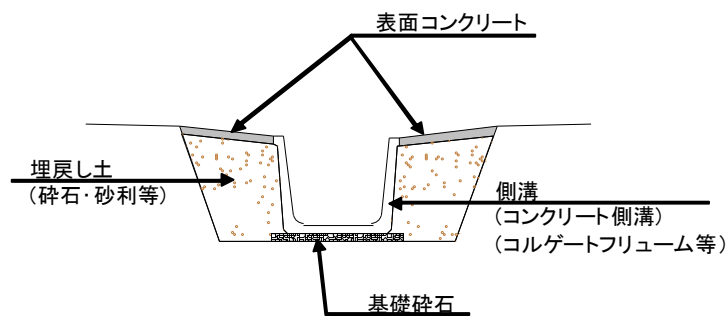
- (1) 各項目に必要な応じて、下記の項目を算出する。
(10mもしくは1基当り)

項目 \ 区分	規格	単位	数量	備考
生コンクリート	○	m ³		
アスファルト	○	t		
砕石	○	m ³		
遮水シート	○	m ²		
吸出防止材	○	m ²		

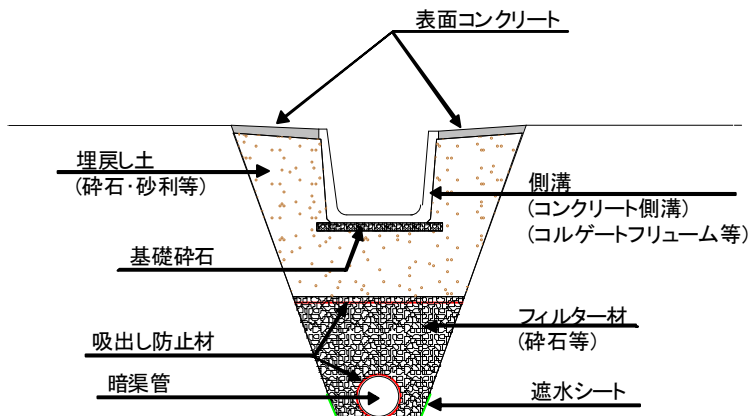
- (2) 上表の各項目の規格区分は、使用材料ごとに算出する。

5. 参考図（地すべり防止工（山腹水路工）構造概念図）

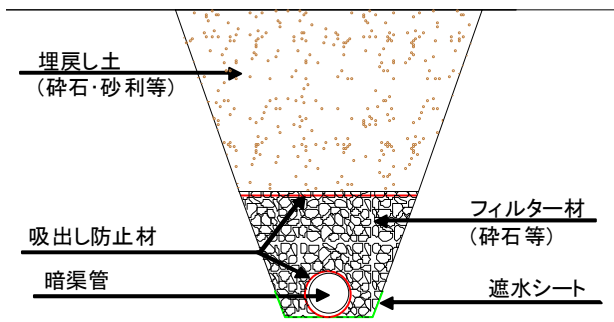
- (1) 山腹集水路・排水路



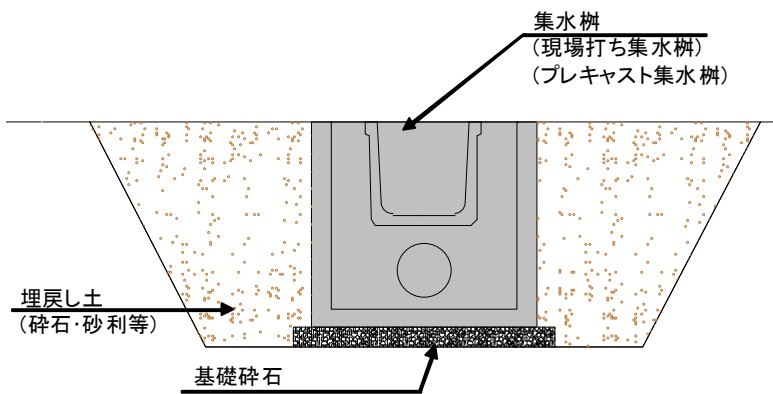
- (2) 山腹明暗渠



(3) 山腹暗渠



(4) 集水桝



6.4 かご工(斜面对策)

1. 適用

地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設における、じゃかご及びふとんかご（階段式、パネル式）の施工に適用する。

2. 数量算出項目

じゃかご、ふとんかごの施工延長を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目 \ 区分	規格	単位	数量	備考
じゃかご	○	m		
ふとんかご	○	m		

(2) 規格区分

じゃかご、ふとんかごの規格ごとに区分して算出する。

じゃかごの規格	鉄線じゃかご (径45cm)
	" (径60cm)
ふとんかごの規格	高さ(D) = 40cm 幅 (B) = 120cm
	高さ(D) = 50cm 幅 (B) = 120cm
	高さ(D) = 50cm 幅 (B) = 200cm
	高さ(D) = 60cm 幅 (B) = 120cm
	高さ(D) = 100cm 幅 (B) = 120cm
	高さ(D) = 100cm 幅 (B) = 200cm

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編(共通編) 1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

(1) 必要に応じて、止杭や吸出防止材を別途考慮して算出する。

なお、止杭は、松丸太末口9cm、長さ1.5mを標準とする。